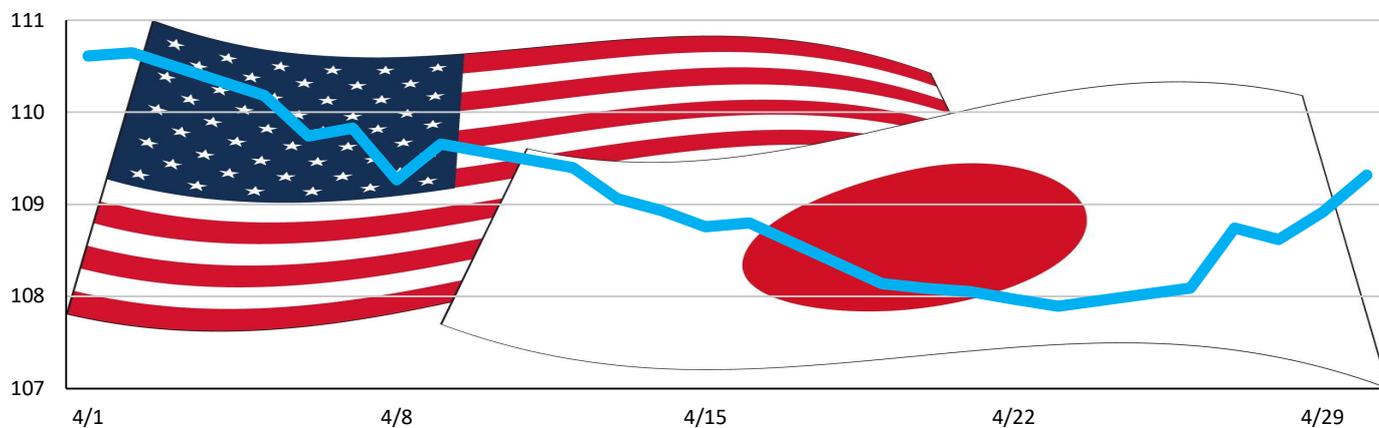


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 4月のドル円相場は110円後半～107円半ばで推移。良好な経済指標や米ヘッジファンドのアーキegosが多額な損失を発生させたとの報道で、安全志向が広がり111円目前までドル高が進行したが、ドル買いをけん引していた米長期債利回りの低下をきっかけにドル売りの流れに変わっていった。その後も核合意協議への懸念や日米首脳会談後の中国の動きが嫌気され、107円台半ばまで円高ドル安が進行。ただ月末に日銀金融政策決定会合とFOMCを控えてドル買戻しの動きに。日銀の金融緩和長期化懸念や米GDPが市場予想を上回る結果だったこともありドル買いが加速し、109円台を回復して4月を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 新型コロナウイルスに対するワクチン接種者の数が欧米で徐々に増えてきているが、変異株も世界的に広がりを見せている。特にインドや東南アジアなどを中心に感染者が爆発的に増えており予断を許さない。ただ米国などでは良好な経済指標発表や一部大企業においてテレワークからオフィスワークに復帰するとの報道があり、潜在的なドル買いの地合いは増してきている。今後は押し目でポジションを構築できるかがポイントとなってくるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 18 (火)	8 : 50	J P	日GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 25 (火)	23 : 00	U S	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
5 / 27 (木)	21 : 30	U S	米GDP改定値	☆☆☆☆
5 / 28 (金)	21 : 30	U S	個人消費支出	☆☆☆☆
6 / 4 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 10 (木)	20 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 10 (木)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。